九州北部地方
3か月予報（5～7月）の解説

令和7年4月22日 14時発表
福岡管区気象台予報課

3か月予報（5～7月）のポイント

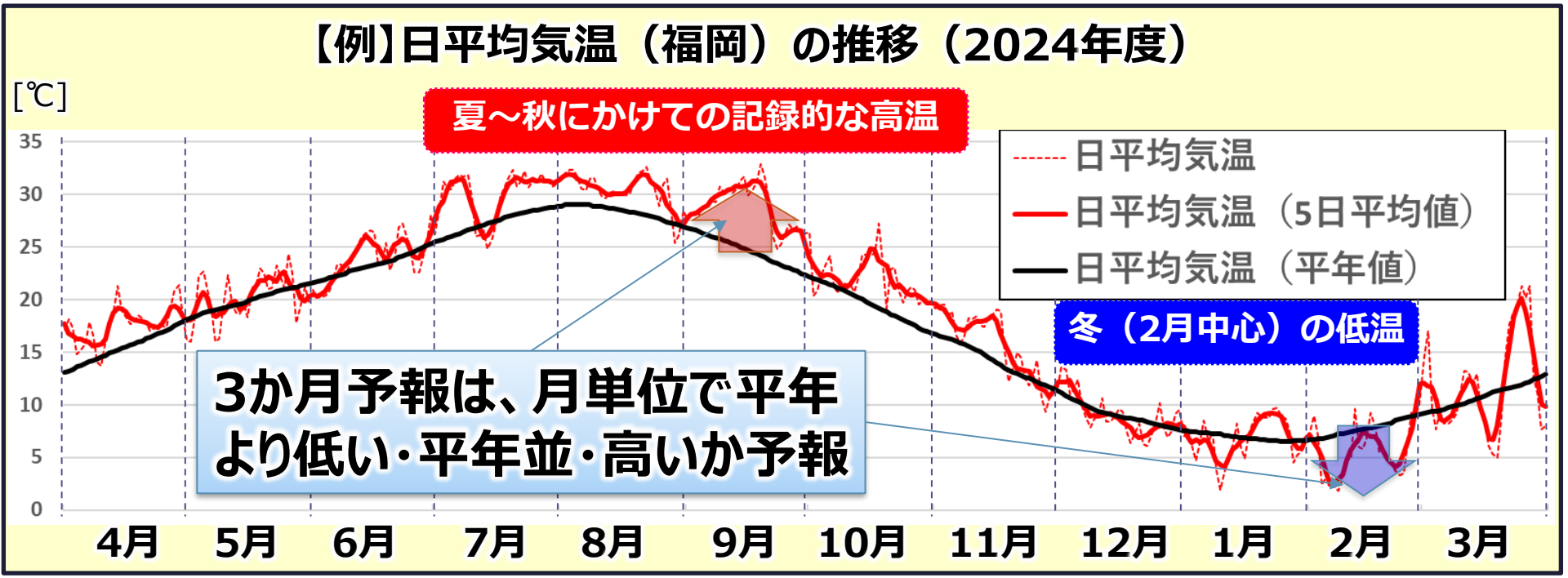
- 暖かい空気に覆われやすいため、気温は**高い**
- 降水量は、ほぼ平年並

【留意事項】
- 高温の予想、早めの熱中症対策が必要
- 降水量はほぼ平年並の予報だが、梅雨前線の活動が活発となる時期がある。
  近年は梅雨時期の大雨の発生頻度は増加しており、大雨に対する備えが必要
- 最新の気象情報に留意

季節予報（3か月予報等）の概要と目的

季節予報

- 時間・空間スケールの大きい現象に着目
- **平年の天候からの偏り**を予報
- 各種産業・早めの防災・健康管理への活用に期待



3か月予報　予報期間（向こう3か月）の天候（気温・降水量）を月・地方単位で確率を用いて予報

- 5～7月
- 九州北部地方
- 低い・平年並・高い確率○○%

３か月予報（5～7月）

	気温 低　並　高（%）	降水量 少　並　多（%）	天候
5～7月	高い 10：30：**60**	ほぼ平年並 30：30：**40**	
5月	平年並か高い 20：**40**：**40**	ほぼ平年並 30：**40**：30	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い。
6月	高い 10：30：**60**	ほぼ平年並 30：30：**40**	平年と同様に曇りや雨の日が多い。
7月	高い 20：30：**50**	ほぼ平年並 30：**40**：30	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多い。

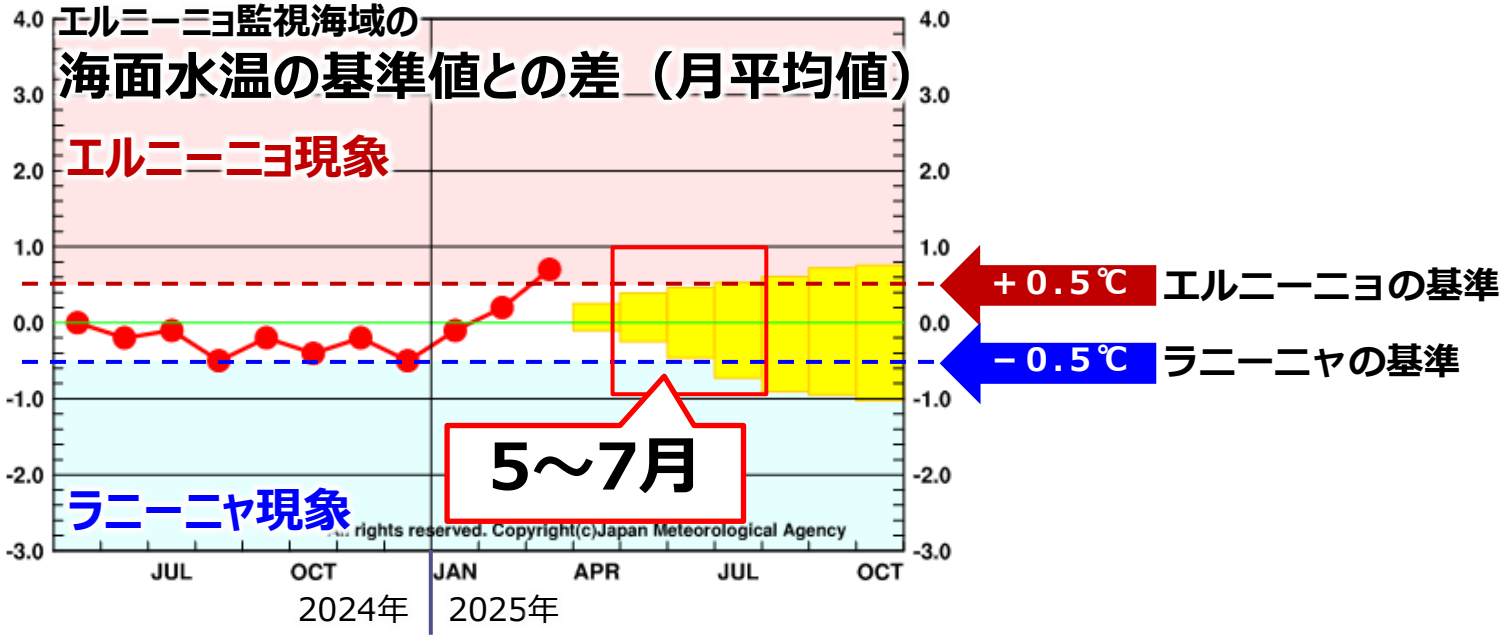
前回（3月）発表からの変更点

	前回 低　並　高 %		今回 低　並　高 %
5月の気温	30：30：**40**　ほぼ平年並	→	20：**40**：**40**　平年並か高い
6月の気温	20：30：**50**　高い	→	10：30：**60**　高い

最新の1、3か月予報資料で、暖かい空気に覆われやすい傾向が強まったため

エルニーニョ/ラニーニャ現象の実況と予測

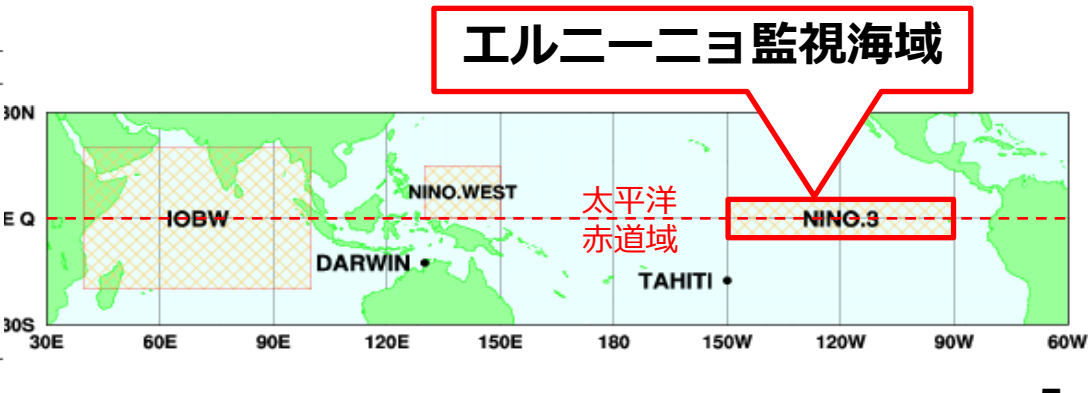
- エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない平常の状態となっている。
- 今後、夏にかけて平常の状態が続く可能性が高い（60%）。



エルニーニョ/ラニーニャの確率の推移

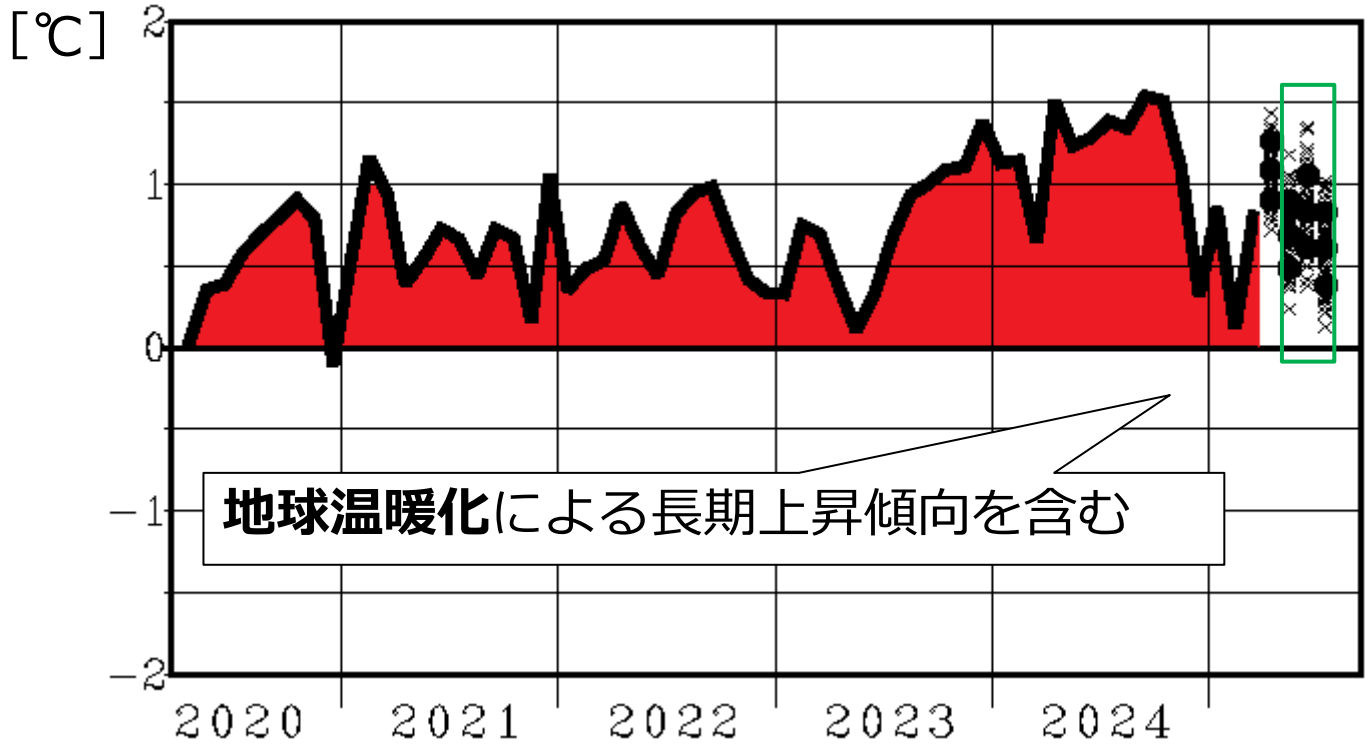
年	月	平均期間	
2025年	2月	2024年12月～2025年4月	100
	3月	2025年1月～2025年5月	100
	4月	2025年2月～2025年6月	100
	5月	2025年3月～2025年7月	100
	6月	2025年4月～2025年8月	10 / 80 / 10
	7月	2025年5月～2025年9月	20 / 60 / 20
	8月	2025年6月～2025年10月	20 / 60 / 20

■エルニーニョ現象　■平常　■ラニーニャ現象



大気全体の温度の実況および予測

大気全体（北半球中緯度）の温度は平年より高い状態が継続



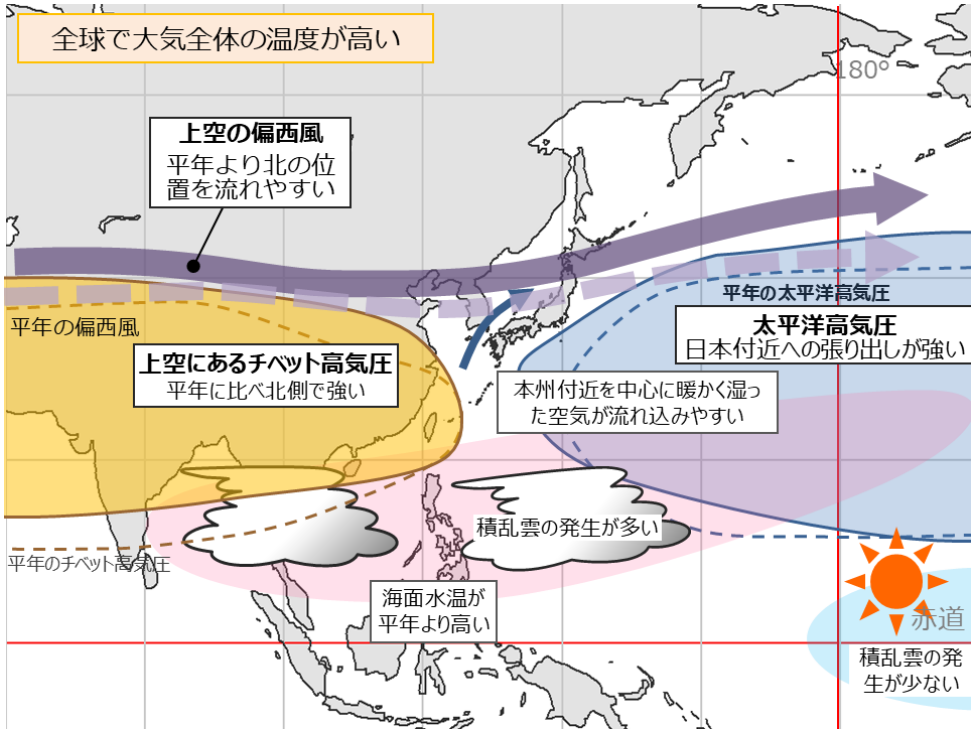
5～7月
+0.7℃程度

北半球中緯度（北緯30～50度）
対流圏（高さ約1500～10000m）の温度の平年差

平年値の期間　1991～2020年

5～7月の予想される海洋と大気の特徴

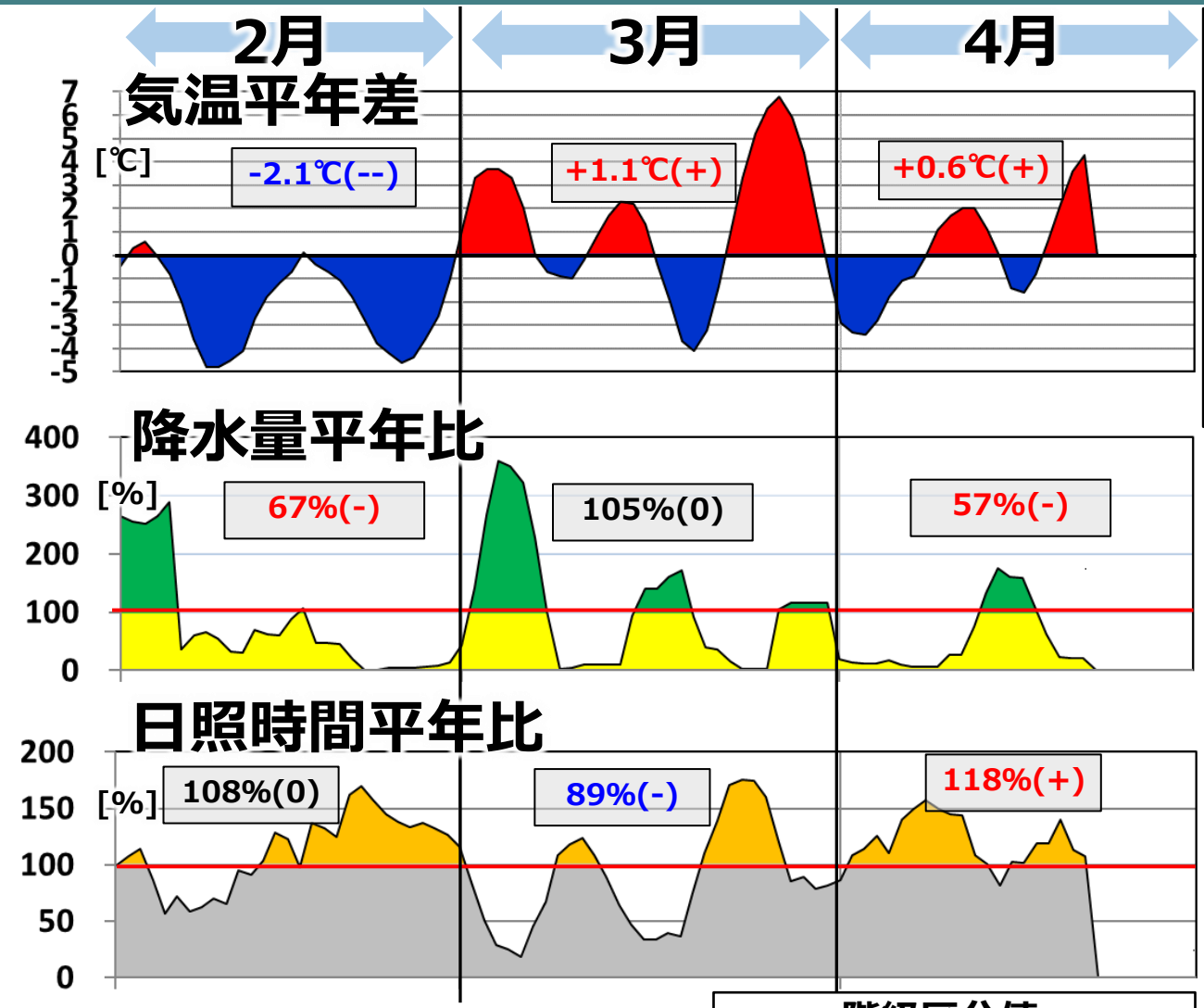
- **地球温暖化の影響等により、地球全体で大気の温度が高い**
- **偏西風は平年より北の位置を流れやすく、日本付近は暖かい空気に覆われやすい**
- **暖かく湿った空気が流れ込みやすく、梅雨前線の活動が活発となる時期がある**



予報の根拠

- ラニーニャ現象に近い状態は弱まったものの、太平洋熱帯域の海面水温は中部で低く、西部で高い状態が続く。このため、積乱雲の発生は太平洋赤道域の日付変更線付近で少ない一方、東南アジアからフィリピンの東にかけて多い。
- これらの影響により、上空の偏西風はユーラシア大陸から日本付近にかけて平年より北の位置を流れやすく、チベット高気圧は平年に比べ北側で強い。また、太平洋高気圧は平年に比べ日本付近への張り出しが強く、本州付近を中心に暖かく湿った空気が流れ込みやすい。
- これらのことから、九州北部地方では、暖かい空気に覆われやすい。また、梅雨前線の活動が活発となる時期がある。

九州北部地方の天候経過（2～4月）



数値は月平年差（比）・階級区分値
4月の値は20日までの暫定値
グラフは５日移動平均値でプロット

階級区分値

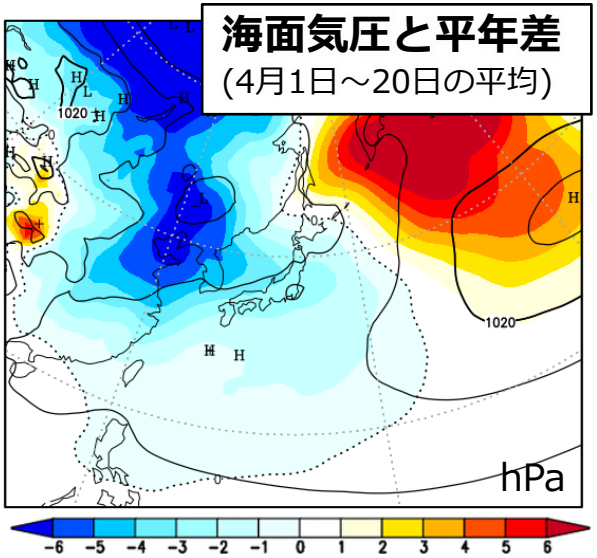
(++)：かなり高い/かなり多い
(+)：高い/多い
(0)：平年並
(-)：低い/少ない
(--)：かなり低い/かなり少ない

（4月の天気概況）

・低気圧や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多く、降水量は平年を下回り、日照時間は平年を上回った。

・暖かい空気が流れ込む時期があり、気温は、平年を上回った。

海面気圧と平年差
(4月1日～20日の平均)



中国東北区付近から北日本付近に気圧の谷がのび、北日本を中心に低気圧の影響を受けやすかった。一方、西日本では低気圧や前線の影響を受けにくかった。

3か月予報（5～7月）のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、気温は**高い**
- 降水量は、ほぼ平年並

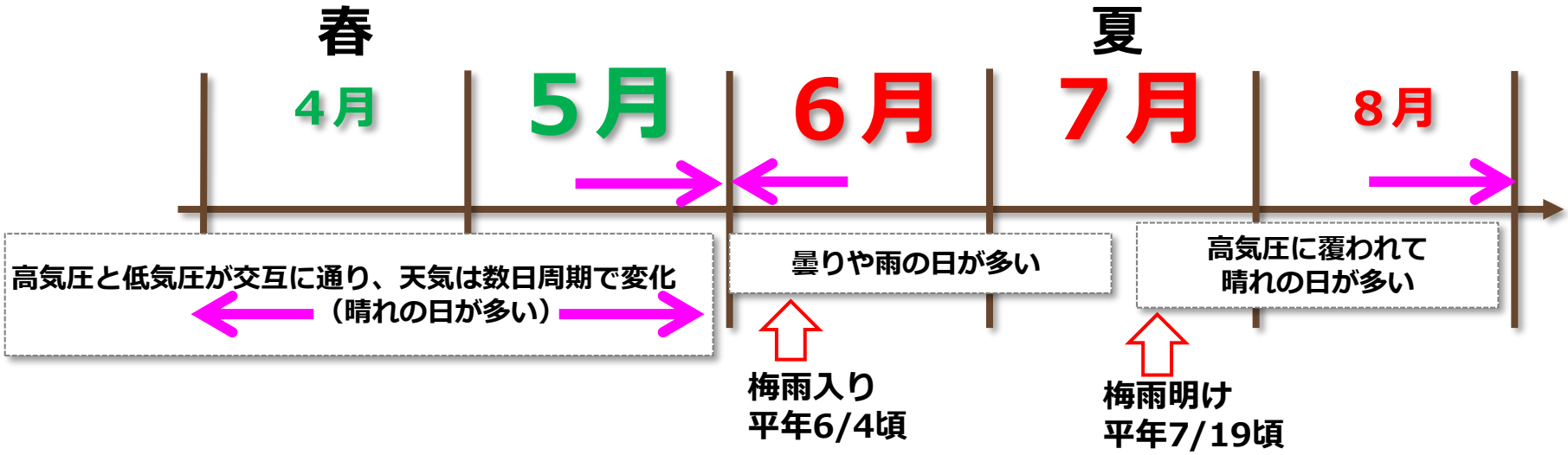
【留意事項】
- **高温の予想、早めの熱中症対策が必要**
- **降水量はほぼ平年並の予報だが、梅雨前線の活動が活発となる時期がある。**
  近年は梅雨時期の大雨の発生頻度は増加しており、大雨に対する備えが必要
- **最新の気象情報に留意**

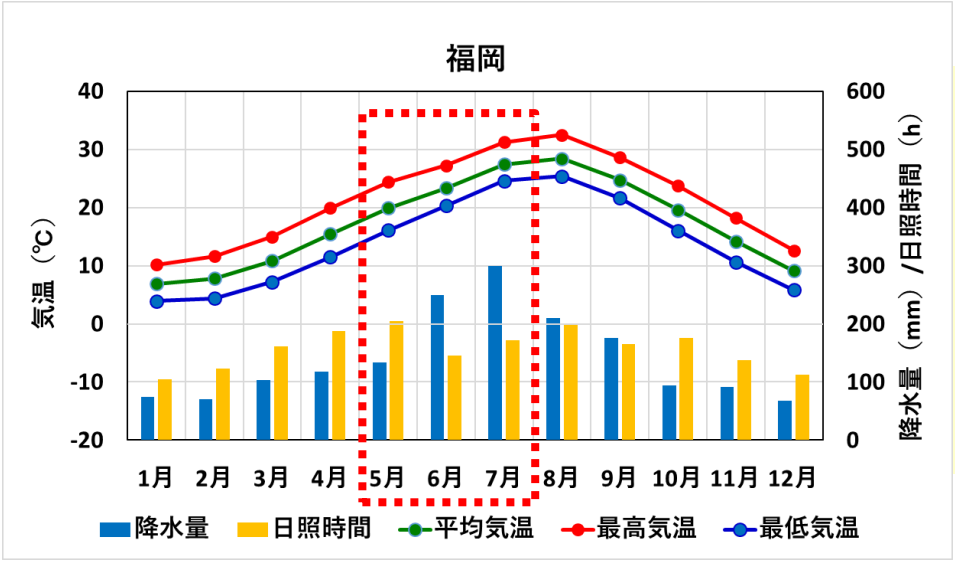
次回の３か月予報（夏：6～8月）の発表日は、5月20日（火）です
＊原則として毎月19～25日の間の火曜日が発表日です

季節予報に関するお問い合わせ先
福岡管区気象台予報課（092-725-3604）

補足資料

【補足資料】九州北部地方の一般的な天候の経過





気象要素の月ごとの季節変化（福岡）

- **気温は上昇する時期**
- **降水量は多い時期**

年間の約30%が６～７月に降る

- **日照時間は５月は多いが 6月、7月は少な目**

＊台風の九州北部地方への接近数の平年値
5月 0.1個　6月 0.3個　7月 0.8個

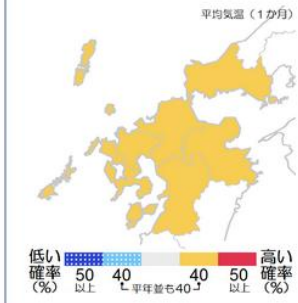
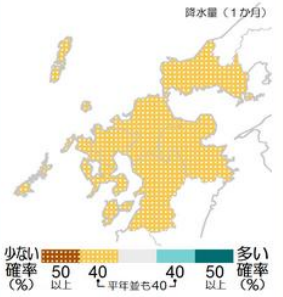
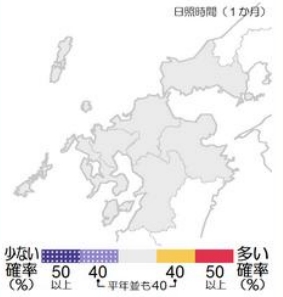
気象台HP https://www.data.jma.go.jp/cpd/j_climate/kyuhoku/main.html

【補足資料】最新の九州北部地方の1か月予報

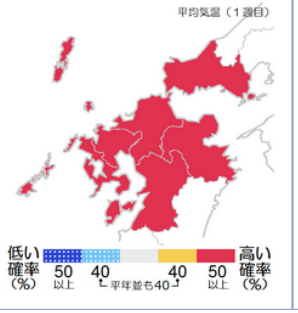
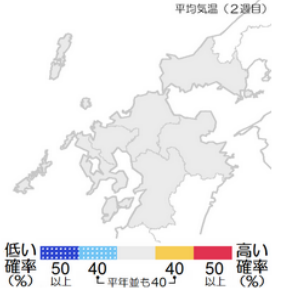
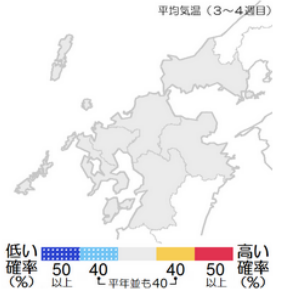
1か月予報（4/17発表）

- 向こう１か月の気温は、期間のはじめを中心に暖かい空気が流れ込みやすいため、**平年並か高い**。
- 向こう１か月の降水量は、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けにくいため、**平年並か少ない**。

向こう1か月の
平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（向こう１か月）	降水量（向こう１か月）	日照時間（向こう１か月）
九州北部地方（山口県含む）	低20 並40 高40% **平年並か高い**見込み	少40 並40 多20% **平年並か少ない**見込み	少30 並30 多40% **ほぼ平年並**の見込み
数値は予想される出現確率（%）です			

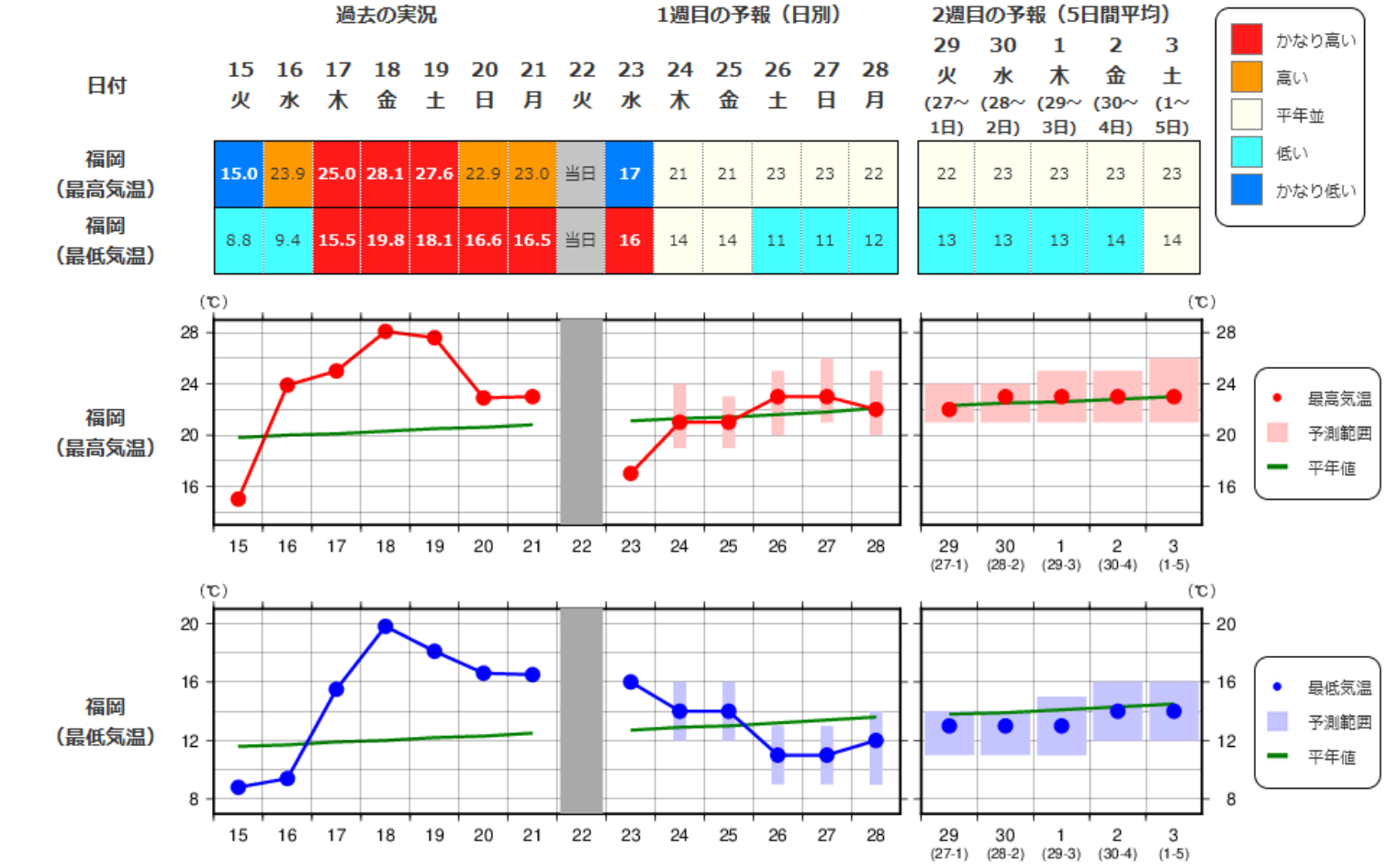
週別の天候と平均気温

		1週目 4/19～4/25	2週目 4/26～5/2	3～4週目 5/3～5/16
天候		天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
平均気温	九州北部地方（山口県含む）	低10 並20 高70% **高い**見込み	低20 並50 高30% **平年並**の見込み	低30 並30 高40% **ほぼ平年並**の見込み
	数値は予想される出現確率（%）です			

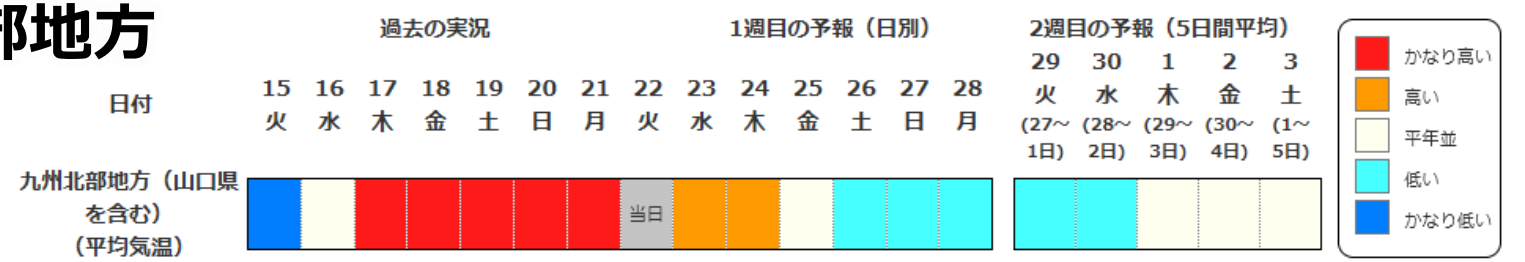
気象庁HP https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?region=010900&term=P1M

【補足資料】福岡県の2週間気温予報（4/22 5時発表）

福岡



九州北部地方



気象庁HP https://www.data.jma.go.jp/cpd/twoweek/?fuk=82

2月25日発表暖候期予報（夏：6～8月）

- 暖かい空気に覆われやすいため、夏の気温は**高い**
- 夏および梅雨時期の降水量は、ほぼ平年並

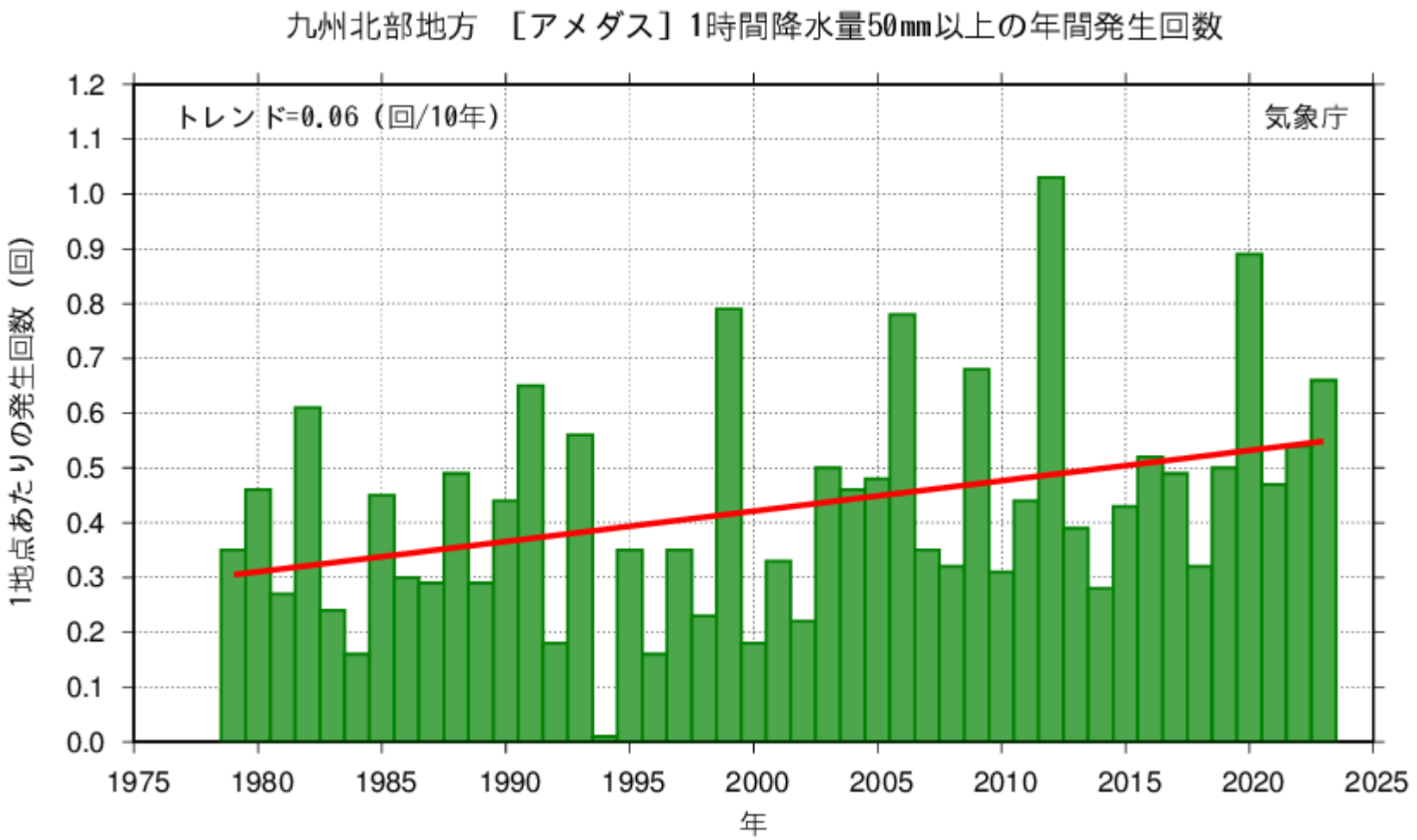
	気温 低　並　高（%）	**降水量** 少　並　多（%）	天候
夏 **6～8月**	**高い** 10：30：**60**	**ほぼ平年並** 30：30：**40**	６月から７月は平年と同様に曇りや雨の日が多い。その後は、平年と同様に晴れの日が多い。
梅雨時期（6～7月）		**ほぼ平年並** 30：30：**40**	

【留意事項】

- **夏は高温の予想、十分な熱中症対策が必要**
- **夏や梅雨の降水量はほぼ平年並の予報だが、梅雨前線の活動が活発となる時期がある。大雨に対する備えが必要**

【補足資料】短時間強雨発生回数の長期変化傾向

1時間降水量50㎜以上の極端な大雨の年間発生回数は増加傾向



気象台HP https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/kaiyo/chikyu/report/observation.html